

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 豊商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8747 URL <http://www.yutaka-shoji.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 石黒 文博  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 多々良 孝之 (TEL) 03-3667-5211  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,235	10.3	△88	—	△26	—	△61	—
25年3月期第3四半期	2,933	△18.3	△217	—	△217	—	△165	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △5百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △109百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△7.53	—
25年3月期第3四半期	△20.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,883	9,337	24.6
25年3月期	37,108	9,384	25.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,337百万円 25年3月期 9,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

当社及び当社グループ(以下、「当社」という。)は、下記「3.平成26年3月期の連結業績予想」における事由により、予想配当金については記載を控えさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

当社の主たる事業である商品先物取引業は事業の特性上、営業収益において、商品市場、為替市場及び証券市場等の市場環境の動向により大きく影響を受ける傾向にあります。当社はこのような状況において、業績予想を適正かつ合理的に行うことは非常に困難であることから、業績予想の開示及び公表は、株主及び投資家の皆様の合理的な判断の形成に有用とはいえないと判断されるため、業績予想の開示を控えさせていただきます。それに代えて、決算数値が確定したと考えられる時点で四半期及び通期の業績速報値の開示を実施いたしてまいります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	8,897,472株	25年3月期	8,897,472株
26年3月期3Q	677,809株	25年3月期	677,133株
26年3月期3Q	8,220,197株	25年3月期3Q	8,220,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、日本銀行による4月4日の黒田新体制下の金融政策決定会合において「量的・質的金融緩和」、別名「異次元金融緩和」の導入が発表されたことから、景気動向に対し明るい兆しが見え始め、大手企業を中心に株価が上昇するなど、幸先の良いスタートとなりました。一方、世界経済は、米国の復活による穏やかながら景気回復の兆しが見られるものの、中国の安定成長への移行による中国経済減速などが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

証券市場においては、日経平均株価指数に代表される取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)はアベノミクスを背景にした景気回復期待感から堅調な推移となりました。4月の「異次元金融緩和」の導入をきっかけに、5月中旬には日経平均株価は15,000円台まで値を上げました。その後11月中旬までは調整局面から14,000円を中心としたボックス圏での動きとなりましたが、ニューヨークダウの新値更新を背景に上昇し、16,291円で大納会を終えました。

商品市場においては、原油は欧州中央銀行(ECB)の利下げや米国雇用統計の改善を好感し、ニューヨーク原油が100ドルを回復、国内市場も追随する形となり下値を切り上げる動きとなりました。その後、米国のシリアへの軍事介入に対する懸念が和らいだことからニューヨーク原油は軟調な推移となりましたが、国内市場は円安・ドル高が支援要因となって、レンジを切り上げました。

金は欧州連合(EU)と国際通貨基金(IMF)からの支援が決まっていたキプロスが、資金調達のため金準備を売却することに合意したことから、ニューヨーク市場及び国内市場は暴落場面からのスタートとなりました。7月に入りますと、米国連邦準備制度理事会(FRB)による量的金融緩和政策の縮小の見送りや、中国の経済指標の好転から金需要拡大への期待感により反発し、徐々に下値を切り上げ9月には4,500円台まで上昇しました。その後は米国での債務上限問題が解決に向けて進む中、安全資産とされる金が魅力を失い、ニューヨーク市場が下落、国内市場も一時4,000円割れまで下落しましたが、後半は円安・ドル高が支援要因となり4,000円から4,200円のレンジで推移しました。

穀物は米国でのトウモロコシ及び大豆の作付面積が大きく増加するとの見通しから急落してスタートしました。しかしその後はトウモロコシの作付遅延から、大豆も作付がずれ込むとの見通しにより反発しましたが、トウモロコシ生育期の天候が順調であったため概ね軟調な展開となりました。11月以降、シカゴ市場は下値固めの相場展開となり、国内市場は円安・ドル高を背景に下値を切り上げる動きとなりました。

為替市場においては、ドル円相場は「異次元金融緩和」を背景に一気に円安・ドル高が進行し、5月には103.74円をつけました。しかし、その後は世界的な株安の影響を受けて、100円台を割り込むと一気に円高・ドル安が進行し93.77円まで急落しました。7月以降は98円を中心としたボックス圏での動きとなりましたが、11月に入りますと、米国のGDP(国内総生産)や、雇用統計の数値が良好だったことを受けて円安・ドル高が進行し、堅調な株式市場を背景にリスクオンの動きが強まり、2008年10月以来となる105.41円まで上昇しました。

このような環境のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の商品先物取引の総売買高は975千枚(前年同期比36.3%減)及び金融商品取引等の総売買高は1,854千枚(前年同期比118.5%増)となり、受取手数料は2,873百万円(前年同期比2.8%増)、売買損益は328百万円の利益(前年同期は102百万円の利益)となりました。

なお、取引所株価指数証拠金取引「ゆたかCFD」の管理体制を整え、取り扱い店を10店に拡大し、新規委託者を獲得したことにより、「ゆたかCFD」の総売買高が1,025千枚(前年同期比1,006千枚増)となり、受取手数料が584百万円(前年同期比572百万円増)、売買損益が207百万円の利益(前年同期は0.6百万円の損失)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益3,235百万円(前年同期比10.3%増)、経常損失26百万円(前年同期は217百万円の経常損失)、四半期純損失61百万円(前年同期は165百万円の四半期純損失)となりました。

なお、後記「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に掲記したとおり、当社グループの事業セグメントは、主として商品先物取引の受託及び自己売買、並びに金融商品取引等の受託及び自己売買の金融商品取引業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産総額は37,883百万円、負債総額は28,545百万円、純資産は9,337百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間の資産総額37,883百万円は前連結会計年度末37,108百万円に比べて774百万円増加しております。この内訳は、流動資産が641百万円、固定資産が133百万円それぞれ増加したものであり、主に「現金預金」が1,009百万円減少した一方、流動資産「その他」が1,617百万円増加したことによるものであります。なお、流動資産「その他」の増加の主な内訳は「委託者先物取引差金」1,216百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間の負債総額28,545百万円は、前連結会計年度末27,723百万円に比べて821百万円増加しております。この内訳は、流動負債が845百万円増加し、固定負債が24百万円減少したものであり、主に「委託者未払金」が585百万円、「預り証拠金代用有価証券」が233百万円それぞれ減少した一方、「金融商品取引保証金」が1,767百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産9,337百万円は前連結会計年度末9,384百万円に比べて46百万円減少しております。この内訳は、その他の包括利益累計額が56百万円増加した一方、株主資本が103百万円減少したことによるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間の自己資本比率は24.6%(前連結会計年度末は25.3%)となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業である商品先物取引業は事業の特性上、営業収益において、商品市場、為替市場及び証券市場等の市場環境の動向により大きく影響を受ける傾向にあります。当社はこのような状況において、業績予想を適正かつ合理的に行うことは非常に困難であることから、業績予想の開示及び公表は、株主及び投資家の皆様の合理的な判断の形成に有用とはいえないと判断されるため、業績予想の開示を控えさせていただいております。それに代えて、決算数値が確定したと考えられる時点で四半期及び通期の業績速報値の開示を実施いたしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,653,208	4,643,321
売掛金	5,092	—
委託者未収金	114,949	162,724
有価証券	20,487	24,939
トレーディング商品	42,352	266,594
商品	4,872	12,186
保管有価証券	7,177,218	6,943,571
差入保証金	16,328,333	16,316,469
その他	1,105,665	2,723,412
貸倒引当金	△1,184	△661
流動資産合計	30,450,995	31,092,557
固定資産		
有形固定資産	3,956,697	3,888,479
無形固定資産	201,485	187,601
投資その他の資産		
その他	3,146,772	3,446,749
貸倒引当金	△647,915	△732,358
投資その他の資産合計	2,498,856	2,714,390
固定資産合計	6,657,039	6,790,471
資産合計	37,108,035	37,883,028
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	4,267
委託者未払金	1,735,021	1,149,735
短期借入金	1,118,400	954,450
未払法人税等	48,705	11,175
賞与引当金	106,633	27,516
預り証拠金	8,563,355	8,737,708
預り証拠金代用有価証券	7,177,218	6,943,571
金融商品取引保証金	7,354,367	9,121,695
その他	408,420	407,440
流動負債合計	26,512,121	27,357,559
固定負債		
退職給付引当金	670,561	680,447
役員退職慰労引当金	217,230	201,930
訴訟損失引当金	1,820	1,820
その他	174,884	155,958
固定負債合計	1,064,496	1,040,156
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	141,782	141,782
金融商品取引責任準備金	5,487	6,076
特別法上の準備金合計	147,270	147,859
負債合計	27,723,888	28,545,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,722,000	1,722,000
資本剰余金	1,104,579	1,104,579
利益剰余金	6,880,409	6,777,388
自己株式	△312,120	△312,298
株主資本合計	9,394,869	9,291,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,809	63,088
為替換算調整勘定	△33,532	△17,303
その他の包括利益累計額合計	△10,722	45,784
純資産合計	9,384,146	9,337,453
負債純資産合計	37,108,035	37,883,028



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益		
受取手数料	2,795,315	2,873,963
売買損益	102,592	328,498
その他	35,230	32,802
営業収益合計	2,933,138	3,235,264
営業費用		
販売費及び一般管理費	3,150,660	3,323,614
営業費用合計	3,150,660	3,323,614
営業損失(△)	△217,521	△88,349
営業外収益		
受取利息	4,547	2,000
受取配当金	12,996	27,964
貸倒引当金戻入額	9,527	2,841
為替差益	—	29,402
その他	14,118	15,633
営業外収益合計	41,190	77,842
営業外費用		
支払利息	18,456	15,022
為替差損	15,370	—
その他	7,640	1,159
営業外費用合計	41,467	16,181
経常損失(△)	△217,797	△26,688
特別利益		
投資有価証券売却益	1,643	—
固定資産売却益	1,364	457
特別利益合計	3,007	457
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入額	2	588
投資有価証券評価損	903	—
投資有価証券清算損	—	7,954
有価証券償還損	761	2,463
リース解約損	—	1,627
訴訟損失引当金繰入額	2,100	—
固定資産除売却損	9,641	1,905
会員権売却損	652	—
特別損失合計	14,060	14,540
税金等調整前四半期純損失(△)	△228,851	△40,770
法人税等	△63,098	21,149
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,752	△61,919
四半期純損失(△)	△165,752	△61,919

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,752	△61,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,443	40,278
為替換算調整勘定	14,686	16,228
その他の包括利益合計	56,130	56,507
四半期包括利益	△109,622	△5,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,622	△5,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、主として商品先物取引の受託及び自己売買、並びに金融商品取引等の受託及び自己売買の金融商品取引業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。